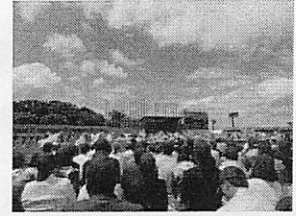


第72回全国植樹祭の開催準備状況について

1 全国植樹祭の概要

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行う国土緑化運動の中心的行事。例年春に天皇皇后両陛下の御臨席のもと開催される。

- (1) 主催 公益社団法人国土緑化推進機構および開催都道府県
- (2) 開催日 例年春(4月～6月)の日曜日
- (3) 大会内容
 - ・式典行事(両陛下によるお手植え、お手播き等)
 - ・植樹活動(招待者、一般県民等)
 - ・その他関連行事(全国林業後継者大会等)



2 これまでの経緯

- ・滋賀県では、1975年(昭和50年)に「第26回大会」として栗東市にある金勝山(現:滋賀日産リーフの森(県民の森))をメイン会場に開催
- ・平成29年5月 第72回全国植樹祭の開催申出
- ・平成29年8月 第72回全国植樹祭の開催県として滋賀県に内定
- ・平成29年9月 第72回全国植樹祭滋賀県準備委員会を設立
- ・平成30年3月 第72回全国植樹祭の「基本構想」を策定(開催理念、開催候補地等の決定)
- ・平成30年7月 第72回全国植樹祭滋賀県実行委員会を設立
- ・平成30年8月 第72回全国植樹祭の開催県として滋賀県に決定
- ・平成30年10月 第72回全国植樹祭の開催地として「鹿深夢の森(甲賀市)」に決定
- ・令和2年1月 第72回全国植樹祭の「基本計画」を策定
- ・令和2年4月 第72回全国植樹祭の開催年の延期が決定(令和3年→令和4年)

3 第72回全国植樹祭基本計画における滋賀県ならではの取組

(1) 琵琶湖・淀川流域府県とのつながりの重視

- ① PR会場を琵琶湖・淀川流域府県に設置して、大会前のPRを行う。
- ② 県外特別招待者として、琵琶湖・淀川流域府県の関係者を招待する。
- ③ 苗木のホームステイを、県内だけでなく琵琶湖・淀川流域の一般の方や企業・団体・学校にも取り組んでいただく。
- ④ 緑の少年団の育成と大会に向けた機運醸成のために開催する「グリーンジャンボリー」(令和元年度)および「こども水源の森サミット」(令和2～3年度)に、琵琶湖を水源として利用する府県からも参加いただき、滋賀県の森林づくりの重要性を共有する。

(2) 滋賀のおもてなし・魅力発信への注力

- ① 県外招待者の方に、通例、大会当日の朝に行われている記念植樹を前日(土曜日の午後)にさせていただくことで、大会当日の朝をゆっくりと過ごしていただき、また会場のおもてなし広場で滋賀の魅力を堪能していただける時間的余裕をつくる。

4 令和元年度事業について

資料1のとおり

5 令和2年度事業について

資料2のとおり

【参考1】全国植樹祭の開催状況および予定

回数	開催年	開催県	開催地	備考
69	2018	福島県	海岸防災林（南相馬市）	2回目
70	2019	愛知県	愛知県森林公園（尾張旭市）	2回目
71	2021	島根県	三瓶山北の原（大田市）	2回目
72	2022	滋賀県	鹿深夢の森（甲賀市）	2回目
73	2023	岩手県	高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市）	2回目
74	2024	岡山県	—	2回目

【参考2】第72回全国植樹祭の開催理念（「基本計画」から抜粋）

私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森—川—里—湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人（暮らし）」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、碧（あお）く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。

第 72 回全国植樹祭滋賀県実行委員会

令和元年度事業について

1 実行委員会の運営

(1) 総会

● 実行委員会第 3 回総会の開催

開催日：令和元年 7 月 30 日（火）

場 所：滋賀県庁東館 7 階大会議室

出席者：委員(61 名/内 23 名代理出席)、監事(2 名)、
参与(12 名)

内 容：大会テーマ・シンボルマークの決定

平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支決算報告

令和元年度収支予算の承認

専門委員会への付託事項の承認（おもてなし・魅力発信専門委員会）



【実行委員会第 3 回総会】

● 実行委員会第 4 回総会の開催

開催日：令和 2 年 1 月 31 日（金）

場 所：滋賀県庁東館 7 階大会議室

出席者：委員(54 名/内 20 名代理出席)、監事(2 名)、
参与(7 名)

内 容：大会ポスター原画の決定

基本計画の承認

令和 2 年度事業計画の承認

第 72 回全国植樹祭しが PR 大使任命式



【実行委員会第 4 回総会】

(2) 幹事会

● 第 2 回幹事会の開催

開催日：令和元年 7 月 11 日（木）

場 所：滋賀県大津合同庁舎 7 階 7-D 会議室

出席者：幹事(17 名/内 3 名代理出席)

内 容：第 3 回総会（7/30）に諮る案件の事前審議

● 第 3 回幹事会の開催

開催日：令和 2 年 1 月 16 日（木）

場 所：滋賀県大津合同庁舎 7 階 7-A 会議室

出席者：幹事(14 名/内 6 名代理出席)

内 容：第 4 回総会（1/31）に諮る案件の事前審議



【実行委員会第 3 回幹事会】

(3) 専門委員会

● 式典専門委員会

① 付託事項 式典行事にかかる演出・内容等の検討に関すること

② 会議の開催

- ・第2回会議：令和元年6月27日
- ・第3回会議：令和元年10月30日
- ・第4回会議：令和2年3月9日 → 書面決議

● 大会テーマ・シンボルマーク専門委員会

① 付託事項 ア 大会テーマの審査・選定に関すること (平成30年度に選定済み)
イ シンボルマークの募集方法等の検討、審査・選定に関すること

② 会議等の開催

- ・シンボルマーク公募：平成31年2月12日～3月31日
- ・第2回会議：令和元年6月10日 (シンボルマーク選定)

③ 検討結果 (シンボルマークの審査・選定)

- ・公募の結果、全国から393件の応募。
- ・専門委員会により、最優秀作品候補 (シンボルマーク候補) として1点、優秀作品候補として3点、次点作品候補として2点をそれぞれ選定。
- 選定された作品候補については、事務局で検討を行い、実行委第3回総会 (7/30) において審議・決定。

● 大会ポスター原画専門委員会

① 付託事項 大会ポスター原画の審査・選定に関すること

② 会議等の開催

- ・大会ポスター原画公募：～令和元年9月10日
- ・会議：令和元年10月21日 (大会ポスター原画選定)

③ 検討結果

- ・公募の結果、県内の児童・生徒から841人の参加。
- ・専門委員会により、最優秀作品候補 (大会ポスター原画候補) として1点、優秀作品候補として2点、入選作品候補として3点、準入選作品候補として9点をそれぞれ選定。
- 選定された作品候補については、実行委第4回総会 (1/31) において審議・決定。

● おもてなし・魅力発信専門委員会

① 付託事項 ア 「おもてなし弁当」の制作に関すること
イ 式典会場における「おもてなし広場」の企画に関すること
ウ 県外招待者に対する「視察コース」の検討に関すること
エ その他、おもてなし・魅力発信に関すること

② 会議の開催

- ・第1回会議：令和元年11月13日
- ・第2回会議：令和2年3月24日

(4) 実行委員会への協賛状況

- 申込状況 資金協賛：1,078万円・29件 (令和2年3月31日現在)

2 基本計画の作成

- 基本計画は、全国植樹祭の開催にかかる基本的事項（式典行事計画、植樹行事計画等）をまとめた計画。
 - この基本計画は、当実行委員会においてH30～R1の2か年で作成。
- 基本計画（案）については、実行委第4回総会（1/31）で審議・決定し、同日に国土緑化推進機構の特別委員会で承認・策定。

3 会場整備関係

- 式典会場の整備にかかる基本設計の実施。
- 招待者記念植樹会場の整備にかかる調査および区域測量を実施。
- 天皇皇后両陛下が御着席されるお野立所のデザインを決定。



【お野立所イメージ】

4 県民活動の推進

(1) 苗木のホームステイの実施

- 全国植樹祭や関連イベント等で使用する苗木を、県内および琵琶湖・淀川流域の一般の方や企業・団体等に協力していただきながら育てる「苗木のホームステイ」の取組を実施。この取組を通じて、準備段階から県内全域および琵琶湖・淀川流域（県外）を巻き込み植樹祭を盛り上げるとともに、森づくりに対する意識の高揚を図る。

◇時 期：平成30年10月～

◇応募数：平成30年度 139件
令和元年度 79件（うち県外12件）
合 計 218件

◇苗木本数：平成30年度 4,396本
令和元年度 2,330本（うち県外137本）
合 計 6,726本



【苗木のホームステイ配布セット】



【大阪府豊中市の皆さん】

●県外で参加いただいている施設・団体等

- ・NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21（大阪府）
- ・羽曳野市緑の少年団（大阪府）
- ・淀川河川公園守口サビセンター（大阪府）
- ・清風南海学園高等学校（大阪府）
- ・淀川河川公園鶴飼サビセンター（大阪府）
- ・同志社中学校（京都府）
- ・三川合流域さくらであい館（京都府）
- ・琵琶湖疏水記念館（京都府）

(2) 苗木のスクールステイの実施

- 県内の小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」事業と連携し、全国植樹祭や関連イベント等で使用する苗木を小学生に協力していただきながら育てる「苗木のスクールステイ」の取組を実施。「やまのこ」事業の一環で全国植樹祭に関わっていただくことで、森林環境学習の効果をより高めるとともに、大会の開催機運の醸成を図る。

◇時 期：令和元年5月～

◇取組校： 228校

◇苗木本数： 4,562本



【苗木のスクールステイ（野洲小）】

(3) ビワイチ森づくり事業

全国植樹祭に向けて、県内全域、県民総ぐるみで盛り上げていくため、令和元年度から令和2年度までの2年間、県内の市町等が主体となって実施する植樹活動など、琵琶湖を守る森林の大切さの普及啓発や森林や木に親しむ活動および植樹祭のPR活動に対して支援する。



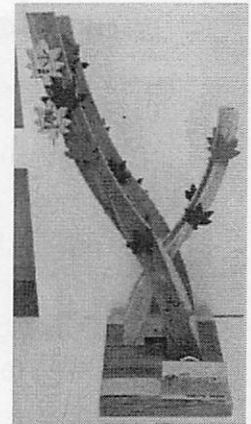
【東近江市プレイベント】

市町名	実施日(期間)	実施場所および内容
森林マッチングセンター運営協議会(長浜市)	令和元年9月13日、10月26日、11月13日、12月9日	【集福寺環境保全林(西浅井町)】 みんなが通える森づくり ・木道づくり、林床整備、支障木等の伐採、カエデ樹液採取、植樹など
(公財)草津市コミュニティ事業団(草津市)	令和元年7月13日～8月18日、10月5日	【草津市ロクハ公園】 ・カプトムシの家(7.13～8.18) ・緑化フェア2019(10.5) ※緑化に係る広報啓発、木工クラフト、カプトムシ観察会
栗東市林業振興会(栗東市)	令和元年11月10日	【日産リーフの森】 ・りっとう市民秋まつり2019にて「うっどじょぶ体験」を実施
・大篠原生産森林組合 ・野洲市環境基本計画推進協議会(野洲市)	令和元年10月～令和2年3月各日	【大篠原生産森林組合】(3.7) 漁民の森づくり・ふれあいの森づくり事業(植栽) 【野洲市環境基本計画推進協議会】(10.3～11.30) クラフト作り、城跡探訪登山(自然観察)
高島市森林組合(高島市)	令和元年11月8日、11日、28日	【朽木中学校および高島市内】 森林・林業に関する座学、森林施業・製材現場見学、チェーンソー・重機体験
東近江市	令和元年11月23日	【政所町藤川谷および道の駅奥永源寺溪流の里】 植樹活動、森林ウォーク、木に親しむ体験
米原市	令和元年10月13日、11月3日	【きゃんせの森および山室】 ・生木のスプーン作りワークショップ(10.13) ・高所樹上伐採体験会(11.3)
竜王町	令和元年9月22日、11月3日、12月6日、2月14日	【町内各地および町内幼稚園、認可保育園】 ・PRグッズ作成による広報活動(9.22、11.3) ・町内4園の園児への木製品配布および森林学習会(12.6、2.14)
多賀町	令和元年7月27日、11月1日、9日、23日、2月25日	【大滝小学校林、高取山、多賀幼稚園】 ・除間伐、下草刈り、枝打ち、樹木観察、森林ウォーキング ・木工クラフト、シイタケ菌打ち
大滝山林組合	令和元年6月1日	【高取山】 たかとりふぶるツアー ・自然観察会・間伐、枝打ち体験・チェーンソーアート・ペレット足湯

●ビワイチ森づくりリレーイベント

全国植樹祭の開催までに、前回の全国植樹祭滋賀県大会の開催地である栗東市の「滋賀日産リーフの森」からスタートした森づくり活動が、全ての市町で実施されて今大会の開催地である甲賀市につながるよう、リレー形式で実施する。

バトンとなる木製リレーモニュメントは、県の木・もみじをイメージしたデザイン。滋賀県立大学の中西茂行先生と環境建築デザイン学科の学生77名で構成される「多賀木匠塾」が製作。ビワイチ森づくり事業を実施した市町を木製もみじで表示する。



【木製リレーモニュメント】

<実施状況>

① りっとう市民秋まつり 2019 with 全国植樹祭しが kick off イベント

〈令和元年11月10日（日）

／滋賀日産リーフの森（栗東市）

内 容：「ビワイチ森づくり事業」リレーkick off セレモニー
木製プランターカバーづくり



【りっとう市民秋まつり 2019
with 全国植樹祭しが kick off イベント】

② 全国植樹祭東近江市プレイベント

〈令和元年11月23日（土）

／道の駅 奥永源寺溪流の里 ほか（東近江市）

内 容：「ビワイチ森づくり事業」リレーセレモニー、植樹、
森林ウォーク、木のおもちゃ展示

③ 竜王町 コスモス保育園木工玩具寄贈式

〈令和2年2月14日（金）／コスモス保育園（竜王町）

内 容：園児への木製品配布・森林学習会、「ビワイチ森づくり事業」リレーセレモニー

④ 多賀町 大滝小学校しいたけ菌打ち

〈令和2年2月25日（火）／多賀町立大滝小学校（多賀町）

内 容：しいたけ菌打ち、「ビワイチ森づくり事業」リレーセレモニー

⑤ 漁民の森づくり・ふれあいの森づくり イベント

〈令和2年3月7日（土）／大篠原生産森林組合所有林（野洲市）

内 容：植樹、「ビワイチ森づくり事業」リレーセレモニー

（4）イベント出展（第72回全国植樹祭しが2021PR等）

① ビワ活フェスティバル 2019 〈令和元年6月30日（日）／ビバシティ彦根（彦根市）

② 親子森づくり体験 〈令和元年7月28日（日）／甲賀市甲賀町神地先〉

内 容：苗木のホームステイ募集（豊中市の皆さん）

③ 第9回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

〈令和元年8月31日（土）／コラボしが21（大津市）

④ 近江ゆかりの会 〈令和元年9月2日（日）／品川プリンスホテル（東京都）〉

⑤ 山を活かす、山を守る、山に暮らす交流会 2019

〈令和元年10月5日（土）

／ウッディパル余呉（長浜市）

内 容：木製プランターカバーづくり



【⑤山を活かす、山を守る、
山に暮らす交流会 2019】

⑥ びわ湖環境ビジネスメッセ 2019

〈令和元年10月16日（水）～18日（金）

／長浜バイオ大学ドーム（長浜市）

⑦ 緑の少年団 グリーンジャンボリー

〈令和元年10月27日（土）／鹿深夢の森（甲賀市）

内 容：木製プランターカバーづくり



【⑦緑の少年団 グリーンジャンボリー】

⑧ 第72回全国植樹祭甲賀市PR大使任命式

〈令和元年12月1日（日）

／甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」（甲賀市）

⑨ 三方よしエコフェア 2019

〈令和元年12月7日（土）／ピアザ淡海（大津市）

⑩ 「世界農業遺産」認定を目指して 第6回シンポジウム

〈令和元年12月14日（土）／ピアザ淡海（大津市）

⑪ 「やまの健康」シンポジウム

〈令和2年1月25日（土）／滋賀県立陶芸の森信楽ホール（甲賀市信楽町）

(5) その他

① インターネットによる情報発信

- ・公式HPでの実行委員会等の開催状況、苗木のホームステイ取組状況、イベント出展情報などの発信
- ・公式Face Bookによる広報



【公式ホームページ】

② 広報誌・TV等による情報発信

- ・植樹祭だより/緑のしずく創刊号
- ・滋賀プラスワン9月号
- ・淡海のもり4月号、8月号、12月号
- ・勇さんのびわ湖カンパニー（9/13 放送回）
- ・キラりん滋賀（9/19 放送回）
- ・テレビ滋賀プラスワン（11/24 放送回）



【勇さんのびわ湖カンパニー】

令和2年度事業について

(1) 会議の開催

令和2年度事業計画の変更が必要。

● 実行委員会の開催（2回）

◇第5回総会：令和2年7月頃〔予定〕（書面開催）

実施計画（素案）、令和元年度事業報告および収支決算、令和2年度変更事業計画（修正案）、令和2年度収支予算（案）の審議、令和2年度暫定収支予算（会長専決処分）の報告等

◇第6回総会：令和3年1月頃〔予定〕

実施計画（案素案）、令和2年度取組状況報告、令和3年度事業計画（案）および収支予算の審議（案）等

● 幹事会の開催（2回）

◇第4回幹事会：令和2年6月23日〔予定〕

第5回総会に諮る審議事項等

◇第5回幹事会：令和3年1月頃〔予定〕

第6回総会に諮る審議事項等

● 専門委員会の開催（2部門、4-3回）

基本計画に記載する事項のうち、専門的知見を必要とする事項について、専門委員会を設置し付託する。

◇式典専門委員会（2回）【継続】

式典行事にかかる演出内容、出演者の検討等

<開催予定>第5回：11月頃、第6回：2月頃

当初予定どおり検討を進めたうえ、内容の充実等に取り組む。

◇おもてなし・魅力発信専門委員会（1回）【継続】

おもてなし弁当、おもてなし広場、招待者視察コースの検討等

<開催予定>第3回：12月頃

期間を1年延長し令和2～3年度で策定

(2) 実施計画の検討

平成30年度から令和元年度までの2か年で作成した「基本計画」を基に、令和2年度から令和3年度の2か年で、さらに詳細な内容を記載した「実施計画」を作成する予定。

令和2年度は、第5回総会で実施計画（素案）、第6回総会で実施計画（案素案）を審議し、最終的に国土緑化推進機構特別委員会（令和4年2月予定）での承認をもって策定となる。

(3) 会場整備

一部実施予定
（計画にかかるもの）

● 式典会場の整備

- ・式典エリアの芝生造成、御料車道、御歩道、お野立所等構造物の施工設計等
- ・本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリアの配置計画

● 招待者記念植樹会場の整備

- ・各植樹会場の区画設定、土壌改良、維持管理等

一部実施予定

(維持管理・計画にかかるもの)

● サテライト会場等の整備

実施予定

- ・サテライト会場

式典映像の配信方法およびイベントやブース内容等の検討および関係者との調整

- ・一般植樹会場

各植樹会場の調査等、イベントやブース内容等の検討

- ・PR会場

イベントやブース内容等の検討および下流府県等関係者との調整

(4) 式典運営準備

● 式典演出内容の検討等

令和2年度～3年度の

2か年で検討・調整。

- ・プロローグ、記念式典、エピローグの演出内容の検討および決定

- ・演出機材(照明、音響等)の配置計画の検討

● 出演者の選定等

令和2年度～3年度の

2か年で検討・調整。

- ・式典にかかる出演者の選定および出演依頼

- ・出演者研修会、合同練習会等の開催検討

(5) 宿泊・輸送および招待者計画の検討等

● 宿泊・輸送計画の検討

- ・宿泊施設との調整

- ・輸送ルートおよび輸送手段の検討、関係者との調整等

● 招待者計画の検討、招待者管理

- ・中央特別招待者(大会会長、国務大臣等)の検討、招待状の送付、招待者管理

- ・特別招待者(県外、県内)の検討、招待状の送付、招待者管理

- ・一般招待者(県外、県内)の検討および推薦依頼、招待状の送付、招待者管理

- ・県内一般招待者[公募枠]の検討および公募、招待状の送付、招待者管理

● 招待者接遇の検討

- ・おもてなし弁当、おもてなし広場、視察コースの検討

- ・レセプション計画および招待者の検討

設置時期を令和2年度から3年度に繰り延べ

(6) 第72回全国植樹祭滋賀県実施本部(仮称)の設置

大会の円滑な運営を図るための実行組織として、「第72回全国植樹祭滋賀県実施本部(仮称)」を令和3年秋頃に設置する予定。

県職員の他、開催市職員、ボランティアなどの積極的な協力を得て、効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化や参加者の安全性、快適性の確保に努める。

(7) 県民活動の推進

● 関連イベント等の実施

実施予定

◇ビワイチ森づくり事業

県内全域・県民総ぐるみで大会を盛り上げていく取組の一環として、全市町で一般県民等を対象とした森づくりイベント等を実施する。その中で、木製モニュメントをリレーすることにより県内全市町をつなぐ取組も併せて実施する。

<時期> 令和元年11月10日(日)～

<場 所> 県内各地域

<内 容> 植樹、森林整備、木工体験および植樹祭のPR活動等

◇第72回全国植樹祭1年前記念イベント「緑のしづく祭」

1年程度延期

全国植樹祭の開催1年前の時期に、大会の周知、開催機運の醸成を図るため、1年前記念イベントを開催する。

<時 期> 令和3年6月6日(土)

<場 所> ビラデスト今津(高島市今津町深清水)

<内 容> 記念伐採、木工体験(プランターカバー作り)、森林に親しむ体験などによる大会やサテライト会場、一般植樹会場等のPR

◇カウントダウンイベント

1年程度延期

第72回全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施する。

◇こども水源の森サミット

参加人数を限定して実施(令和3年度は多数参加とする)

県内全域に加え、琵琶湖を水源として利用するすべての府県から緑の少年団の参加を募り、大会への機運を醸成するとともに、琵琶湖・淀川流域における滋賀県の森林づくりの重要性を共有する。

<時 期> 令和2年11月22日(日)

<場 所> サントピア水口、みなくち子どもの森(甲賀市水口町北内貴)

◇「木製地球儀」巡回展示

1年程度延期

第72回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地で巡回展示する。

<時 期> 令和2年春～

◇琵琶湖博物館での全国植樹祭開催記念ギャラリー展

1年程度延期

全国植樹祭のサテライト会場となる琵琶湖博物館において、開催を記念したギャラリー展示を開催までの一定期間行い、森や木を身近に感じてもらうことで、植樹祭の機運醸成および森林林業の普及啓発を図る。

<時 期> 令和2年度末頃～

◇苗木のホームステイ・スクールステイ

原則として育成期間を1年延長して継続する。

◇コロナに負けないぞ!!子ども応援プロジェクト(新)

全国植樹祭への機運を醸成するとともに、新型コロナウイルスの影響を受けている子どもたちが参加できるプロジェクトを実施する。

① 子どもたちに家庭で取り組んでもらえるもの

・「窓の景色で森アート」インスタグラムフォトコンテスト(別紙参照)

<募集期間> 令和2年4月15日～6月30日

② 子どもたちに野外(森や山)に出てもらえるもの

③ 令和2年秋ごろ「プレ植樹祭」を開催する。

苗木のホームステイ・スクールステイで育成中の苗木の一部について、令和2年度イベント内での活用等を検討中

期間を1年延長して募集

● 企業等による協賛

企業や団体、個人等を対象に、全国植樹祭の開催に対する協賛や寄附を募り、資金や物資等により大会運営に御協力いただくことで、多様な主体の参画による滋賀らしい全国植樹祭を目指す。

期間を1年延長して実施

● 広報活動の実施

県ホームページや広報誌など様々な媒体を通じて取組を情報発信するとともに、のぼり旗やチラシなどの広報啓発品を制作し、各種イベント等を通じて開催をPRすることで、全国植樹祭の開催に向けた機運の醸成を図る。

- ・ 全国植樹祭ホームページの運営
- ・ 全国植樹祭だより「緑のしずく」の発行
- ・ 新聞、テレビ、ラジオ、およびYouTube、InstagramなどのSNS等を活用した大会PR
- ・ のぼり旗、横断幕、チラシ等広報啓発品による大会PR 等

窓の景色で森アート Instagram フォトコンテスト

おうちの窓から見える景色を
森にしちゃおう！

「窓の景色で森アート」

Instagramフォトコンテストの
作品を募集します

おうちの窓からの景色を、森や山、花、木、木の動物などで飾って、いつもの窓からの景色を変身させてみよう。

わたしだけの自然の景色ができれば、きっと気分が晴れやかになるよ。



完成した作品は、おうちの人をお願いしてスマホカメラで撮ってもらい、Instagramで投稿してもらおう。投稿してくれた作品は、令和4年（2022年）に滋賀県で開催する全国植樹祭を盛り上げるために使わせてもらうよ。

◆参加の方法◆

1. 募集作品

参加（応募）いただける作品は、自宅などの窓に、森や山、花、木などをテーマに、窓の外
の風景を使って自然風景を描いていただき、これを撮影した「窓風景写真」とします。

2. 参加方法

①参加者は、第72回全国植樹祭のInstagram公式アカウント（syokujusai_shiga）をフ
ォローします。

②「#全国植樹祭しが」「#窓の景色で森アート」の2つのハッシュタグをつけて、作品の写真を
Instagramに投稿します。

3. 参加対象者

どなたでもご参加いただけます。

4. 募集期間

令和2年（2020年）4月15日（水）～6月30日（火）

詳細はこちら！



※事務局からInstagramのダイレクトメッセージ機能により連絡し、住所、氏名、年齢、電話番号
等を確認させていただく場合があります。